茨城県移動性·安全性向上委員会

第30回委員会資料(安全性)

令和4年8月30日

国土交通省 常陸河川国道事務所 茨城県土木部

目次

1.	これまでの経緯	p2
2.	第29回委員会における主な指摘事項と対応	p4
3.	交通安全対策検討	p9
	事故ゼロプランの取り組みについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p10
	· 第5次事故危険箇所 ····································	p12
	· 第6期事故危険区間 ····································	p13
	• 対策効果未発現箇所 • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	p15
4.	令和4年度合同現地診断について	p17
5.	今後のスケジュール	p19

1. これまでの経緯

茨城県移動性・安全性向上委員会(安全性)の経緯

- ・事故ゼロプランは茨城県移動性・安全性向上委員会(安全性)での議論を踏まえ、PDCAサイクルに基づく対策の立案・実施・評価・追加 対策の検討をしてまいりました。
- ・その中で事故ゼロプランを効果的に推進するため、新たに事故危険区間を選定するルール(基準)を設定し、現時点までで第1期~第6期の事故危険区間を選定し、検討を行ってきております。

■これまでの主な検討内容

年度	委員会	事故ゼロプランの検討内容
平成21年度	第1回	・事故危険区間抽出のためのパブリックコメント実施方針の検討
平成22年度	第2・3回	・事故危険区間529区間の選定(国146区間、県383区間) ・事故危険区間の代表61区間の設定(国52区間、県9区間)
平成23年度	第4回	・事故危険区間の対策方針の検討(個別調書の作成)
平成24年度	第5・6・7・8回	・事故ゼロプランの効果的な推進のためのルール検討(追加およびフォローアップ) ・新たな事故危険区間90区間(第2期事故危険区間)の設定(最新データによる選定:国23区間、県67区間)
平成25年度	第9・10・11回	・新たな事故危険区間24区間(第2期事故危険区間)の追加(アンケートによる選定:国14区間、県10区間) ・第3次事故危険箇所41箇所を事故ゼロプランとして位置づけ(H25事故危険箇所:国13区間、県28区間)
平成26年度	第12-13-14回	・新たな事故危険区間126区間(第3期事故危険区間)の選定(最新データおよびITデータによる選定:国69区間、県57区間)
平成27年度	第15•17回	・第4次事故危険箇所30箇所を事故ゼロプランとして位置づけ(H29事故危険箇所:国11区間、県19区間)
平成28年度	第18•19回	・新たな事故危険区間64区間(第4期事故危険区間)の選定(最新データおよび最新指標値による選定:国35区間、県29区間)
平成29年度	第20-21回	・新たな事故危険区間(第5期事故危険区間)の検討
平成30年度	第22・23回	・新たな事故危険区間103区間(第5期事故危険区間)の設定 (最新データおよび最新指標値による選定:国19区間、県84区間)
令和元年度	第25回	・新たな事故危険区間21エリア(第5期事故危険区間(エリア))の設定(最新データによる選定:国4エリア、県17エリア)
令和2年度	第26回•第27回	・新たな事故危険区間(第5期事故危険区間(エリア))の設定 ・対策完了(卒業)ルールの検討
令和3年度	第28回•第29回	・新たな事故危険区間(第6期事故危険区間)の選定(最新データおよび最新指標値による選定:国27区間、県20区間) ・第5次事故危険箇所(予定)29箇所を事故ゼロプランとして位置づけ(事故危険箇所(予定):国11区間、県18区間) ・対策完了(卒業)判定の結果、国80区間、県77区間が対策完了と判定

- 交通マナー向上のための施策検討について
- ・ 交通事故危険区間(エリア)ヨークタウン水戸周辺について
- 初期に選定された対策効果未発現の箇所について
- ・ ETC2. Oを利用した注意喚起について

第29回委員会における主な指摘事項と対応

・第29回委員会でご指摘を頂いた事項について、対応方針を整理しました。

議事	指摘事項	対応方針
交通マナー向上のための施 策検討について	これまで安全性委員会では道路 側の対策を中心に議論をしてきた が、マナーに関する議論を行って も良いのではないか	茨城県のマナーの特徴について整理を行い、現況を把握。他県の事例を参考に、チラシ等の安全啓発の広報活動の実施を検討する (p6,7参照)。
交通事故危険区間(エリア) ヨークタウン水戸周辺につ いて	事故危険区間(エリア)として検討 を進めている、ヨークタウン水戸 周辺について、幹線道路の渋滞 が課題となっているため、移動性 の観点からの議論が必要である	移動性委員会にて取り扱う。
事故ゼロプランの中でも初 期に選定され、事故が残存 している箇所について	事故ゼロプランの中でも初期に選ばれた箇所のうち、事故が残存している箇所について、集中的に議論をすべき	対策未発現箇所に該当(p15,16参照)。当該箇所は追加対策立案 の都度、個別に当委員会に諮る。
ETC2. 0を利用した注意喚起について	ETC2.0を活用した事故多発交差 点などの情報発信による注意喚 起について、検討・議論したい	現在は主に高速道路にて情報発信されており、一般道ではETC2.0 路側機が少ないという課題もある。一般道における情報提供が可能 か引き続き検討する(p8参照)。

交通マナー向上のための施策検討について

- ・JAF(一般社団法人日本自動車連盟)が平成28年6月に実施した「交通マナーに関するアンケート調査」では、都道府県別の交通マナーに ついて、「悪い・とても悪い」と答えた人の割合が、茨城県は67.2%であり、全国で3番目に多くなっています。
- ・また、マナーが悪いと考える内訳として、「前方の信号が「青」変わる前に発信する車が多い」の項目が全国で4番目、「運転中に他ドライバーから煽られることがある」の項目が全国で1番目に多くなっています。
- ・茨城県警は令和3年8月にSNSで「茨城ダッシュ」(交差点手前で赤信号停止中、青色信号へと変わった瞬間、またはその直前に猛ダッシュで対向直進車よりも先に右折すること)が交通違反であることを周知しています。

【JAFによる交通マナーに関するアンケート調査】

■住んでいる都道府県の交通マナー全般について、マナーが「悪いと 思う」「とても悪いと思う」と回答した人の割合

順位	都道府県	割合
1	香川県	80.0%
2	徳島県	73.5%
3	茨城県	67.2%

【茨城県警による注意喚起】



令 和 3 年 8 月 茨城県警察本部交通総務課 NO.32

~ 信号交差点右折時の交通事故防止



※いわゆる「茨城ダッシュ」とは、交差点手前で赤色信号停止中、青色 信号へと変わった瞬間、またはその直前に、猛ダッシュで対向直進車よりも先に右折すること。



■個別の質問のマナーについて割合と全国順位

茨城県警察本部(公式)Twitter

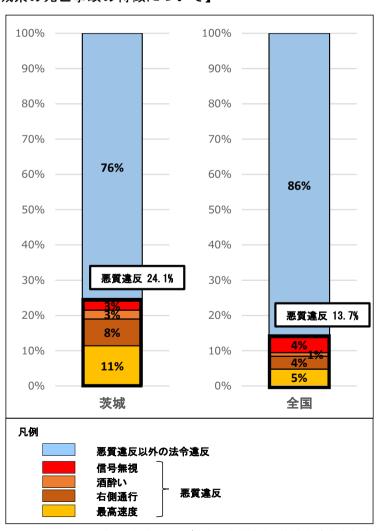
No	質問内容	「やや思う、とても思う」 「時々ある、よくある」 の割合	全国順位
1	方向指示器(ウインカー)を出さずに車線変更や右左折する車が多い。	81.1%	12位
2	前方の信号機が「青」に変わる前に発進する車が多い。	57.4%	4位
3	運転中に携帯電話(スマホ含む)を使用しているドライバーが多い。	87.7%	12位
4	不要なクラクションを鳴らす車が多い。	31.6%	13位
5	無理な割り込みをする車が多い。	65.1%	11位
6	あなたは普段運転中に、後方から他のドライバーに煽(あお)られることはありますか?	60.8%	1位

交通マナーに関するアンケート調査 一般社団法人日本自動車連盟(JAF) 平成28年6月

交通マナー向上のための施策検討について

- 令和3年度の茨城県の死亡事故の法令違反の内訳は、全国平均と比較して悪質違反の割合が高くなっています。
- ・他県では交通ルールの順守や人優先の交通安全意識の浸透、および道路利用者の交通マナーの向上を図るため、チラシ等を作成し、 広報活動等を実施しています。
- ・今後、茨城県においてもチラシ等による広報活動を行い、利用者の交通マナーの向上(茨城ダッシュや煽り運転の抑制)を図ります。

【茨城県の死亡事故の特徴について】



【路利用者のマナー向上のためのチラシ(他県事例)】





令和3年度版 いばらきの交通事故 茨城県警察本部交通部より

ETC2. Oを利用した注意喚起について

- ・現在、ETC2.0を利用した注意喚起は、主に高速道路にて行われています。
- ・また、付近にETC2.0路側機がないと情報提供ができないことから、ETC2.0路側機が少ない一般道では対応が難しい状況です。
- 一般道における情報提供が可能であるかについては、引き続き検討していきます。

【参考 高速道路での情報発信事例】

2

安全運転支援

ドライブ中のヒヤリをなくす事前の注意喚起

• 通常時は広域な道路交通情報を提供するITSスポットで、各道路の交通安全上の課題にあわせて、緊急時には安全運転支援情報を提供します。

(簡易図形と音声で情報提供します)

- 発話型ITSスポット対応車載器の場合は、道路交通情報や安全運転支援情報を音声で提供します。
- 落下物
- 道路上の障害の情報はテレビカメラやパトロール、一般の方々からの通報などで収集され、交通管制センターで集約されています。
- この情報がITSスポット対応カーナビに提供され、障害の手前の適切なタイミングで表示され、急に出くわす道路上の落下物を 事前に注意喚起することで、ドライブ中のヒヤリを削減します。

(参考)首都高速道路では、落下物などの障害が1年間に約5万件、一日平均で約140件発生しています。(10分に1回)

【カーナビでの表示例】

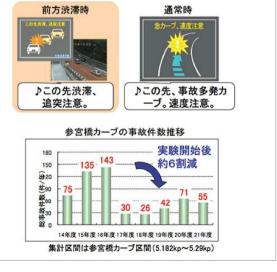


• 事故多発地点における注意喚起(渋滞末尾情報など)

カーブ先やトンネル先の見えないところで急に渋滞に出くわす箇所など交通事故多発地点において、先の渋滞情報など、安全運転に必要な情報を事前に注意喚起します。(簡易図形と音声で情報提供します) (参考)

- 首都高速の事故多発ワースト1箇所である参宮橋カーブでは、カーブ先の渋滞情報提供により追突事故などを約6割削減できました。
- 首都高速道路のワースト20箇所は、道路延長で2%に過ぎませんが、全事故件数の約2割がこれらの箇所で発生しています。

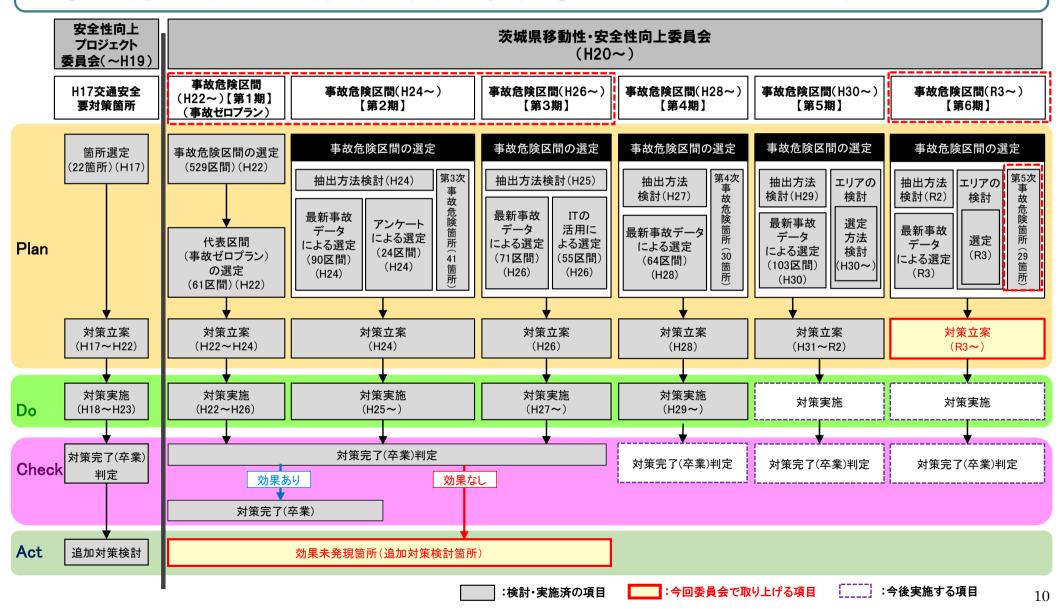




国土交通省HP ETC2.0サービス ETC2.0サービスの内容

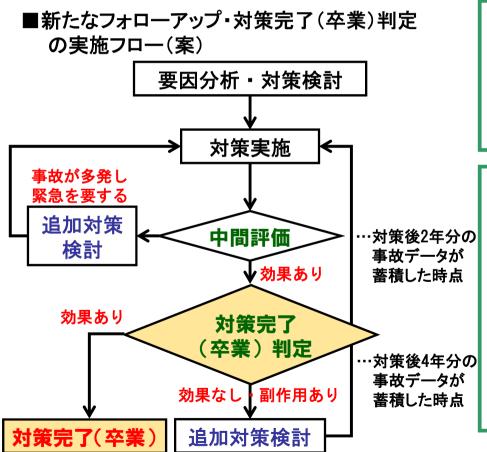
事故ゼロプランの取り組みについて

- 第29回の安全性向上委員会では、「第5次事故危険箇所の対策立案(国7箇所、県18箇所)」「事故危険区間【第6期】の対策立案(国6箇所)」「対策効果未発現箇所(追加対策検討箇所)(国10箇所)」について、確認をしていただきました。
- ・今回の委員会では引き続き、「第5次事故危険箇所の対策立案(国4箇所)」「事故危険区間【第6期】の対策立案(国20箇所、県20箇所)」「対策効果未発現箇所(追加対策検討箇所)(国2箇所、県17箇所)」について取り上げさせていただきます。



事故ゼロプラン対策完了(卒業)の考え方について(第27回委員会再掲)

- ・事故ゼロプランにて対策を実施した箇所については、対策実施後の事故データが4年分蓄積した時点で、「対策完了(卒業)判定」を 実施することを第27回委員会にて承認されています。
- ・選定時の基準を下回るかどうか、だけでなく、管内の事故が経年的に減少していることを踏まえた上で、効果が"十分に"発現しているかどうか、を判定する基準とし、以下の2点を基準として評価を行います。
- ①事故件数の減少に閾値を設ける(選定時と比較し4割以上減少しているかどうかを確認)
- ②「最新(第6期)」の事故危険区間選定指標の合致状況を確認



初回判定時のみ、対策後4年以上経過した箇所を全て対象とする。

中間評価

■対象

対策実施後の事故データが2年分蓄積した箇所

- ■効果評価の視点
- ①対策前後で交通事故発生件数(総量)を比較(事故減少検証)
- ②対策前後で事故の種類や当事者別の発生件数を比較(副作用検証)

対策完了(卒業)判定

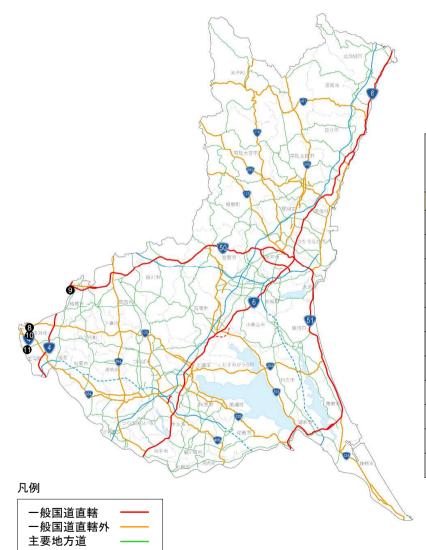
■対象

対策実施後の事故データが4年分蓄積した箇所 ※初回のみ、対策実施後の事故データが4年分以上蓄積した全箇所

- ■効果評価の視点
- ①対策前後で交通事故発生件数(総量)を比較 (選定時と比較し4割以上減少※しているかどうかを確認)
- ②最新(第6期)の事故危険区間選定指標に該当しないことを確認
- ⇒①、②の両方を満たす箇所を対策完了(卒業)とする ただし、事故データ以外で選定された箇所(アンケート等)については対策前 の事故が少ないことも考えられるため、②の判定のみとする。
- ※第11次茨城県交通安全計画(中間案)の交通死傷事故発生件数の 削減目標を踏まえ設定。

第5次事故危険箇所

- ・第28回委員会では第5次事故危険箇所として、国管理11箇所、県管理18箇所を選定しました。
- ・今回委員会では国管理の4箇所について対策案を提示します。

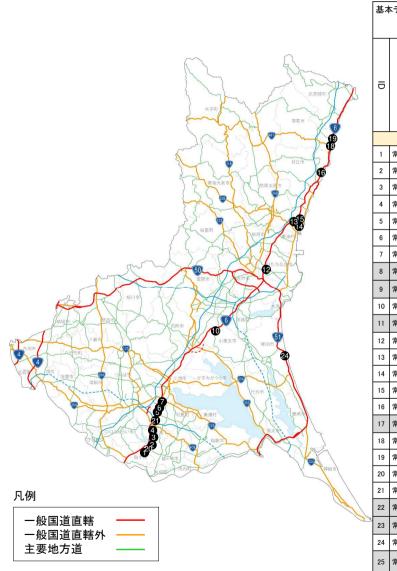


							基	隼A【全事	故】		対策案	
No.	管理者番号	路線名	箇所名	選定基準		0事故	件数	死傷 事故率	重大 事故率	死亡 事故率	提示	備考
						重傷	死亡	(件/億台 キロ)	(件/億台 キロ)	(件/億台 キロ)	箇所	
		<u> </u>		準値	_	-	-	100	10	1		
1	常陸河川国道	一般国道51号	茨城県鉾田市汲上1201付近	Α	8	1	1	119.0	29.7	14.9		前回対策案提示済み
2	常陸河川国道	一般国道51号	茨城県鉾田市滝浜532-1(樅山交差点)	Α	5	1	1	239.6	95.9	47.9		前回対策案提示済み
3	常陸河川国道	一般国道6号	茨城県小美玉市中野谷501-89	Α	4	0	1	114.1	28.5	28.5		前回対策案提示済み
4	常陸河川国道	一般国道6号	茨城県ひたちなか市市毛852 (水戸刑務所北側交差点)	А	14	1	1	340.4	48.6	24.3		前回対策案提示済み
5	常陸河川国道	一般国道6号	茨城県ひたちなか市田彦990-7 (田彦交差点)	А	9	0	1	218.9	24.3	24.3		前回対策案提示済み
6	常陸河川国道	一般国道6号	茨城県那珂郡東海村石神外宿1346 (石神十字路交差点)	А	9	0	1	202.6	22.5	22.5		前回対策案提示済み
7	常陸河川国道	一般国道6号	茨城県日立市田尻町5丁目13	А	7	0	1	106.2	15.2	15.2		前回対策案提示済み
8	宇都宮国道	一般国道4号	三杉町交差点(古河市東4丁目16-15)	А	7	0	1	398.6	56.9	56.9	•	
9	宇都宮国道	一般国道4号	(仮)小田林南交差点 (結城市大字小田林390-3)	А	19	0	1	279.0	14.7	14.7	•	
10	宇都宮国道	一般国道4号	古河市東4丁目19-20~東4丁目17-20 (単路部)	А	3	0	1	109.5	36.5	36.5	•	
11	宇都宮国道	一般国道4号	古河市中田2231-14~中田929-1(単路部)	А	2	0	1	113.7	56.8	56.8	•	
11	宇都宮国道	一般国道4号	古河市中田2231-14~中田929-1(単路部)	Α	2	0	1	113.7	56.8	56.8	•	

対策提示済み

第6期事故危険区間 国管理

- ・第28回委員会では第6期事故危険区間として、国管理27箇所を選定しました。
- ・今回委員会では国管理の18箇所について対策案を提示します。



基本	<u></u> 本データ									F	128-1	R01∄	本数デ	ータ					前今	次回	備考
							基	本指	票			地	域指	票				たな 標	前回対策	回以	有
ō	管理者	路線名	交差点/単路	市町村名	箇 <u></u> 所名	イタルダ区間番号	死傷事故率	死傷事故件数	死者数	×車両事故件数	夜間事故件数	子供(15歳以下)事故件数	高齢者(65歳以上)事故件数	横断者歩行者事故件数	追突事故件数	正面衝突事故件数	工作物衝突事故件数	î	対策案提示箇所	以降対策案提示箇所	
					ļ.	基準値	300	16	2	8	9	2	5	5	13	2	1	3			
1	常陸河川国道	一般国道6号	単路	取手市	取手市大曲(区間)	08-T12876-000	57.5	4	1	0	0	0	2	0	3	0	1	1	•		
2	常陸河川国道	一般国道6号	単路	牛久市	牛久市遠山町(区間)	08-T64382-000	99.8	6	0	0	2	0	4	0	3	0	0	3	•		
3	常陸河川国道	一般国道6号	単路	牛久市	牛久市牛久町(区間)	08-T06307-000	93.3	6	0	0	0	0	2	0	4	2	0	0	•		
4	常陸河川国道	一般国道6号	単路	牛久市	牛久市牛久町 みどり野団地周辺(区間)	08-T05235-000	118.8	7	0	0	3	0	1	0	4	2	0	1	•		
5	常陸河川国道	一般国道6号	交差点	土浦市	学園東大通り入口周辺	08-K02814-000	234.1	7	0	0	1	0	2	0	1	0	0	3	•		
6	常陸河川国道	一般国道6号	単路	土浦市	土浦市中村南4丁目(区間)	08-T63279-000	73.9	4	0	0	2	0	0	0	3	0	0	3	•		
7	常陸河川国道	一般国道6号	単路	土浦市	土浦市原の前交差点付近(区間)	08-T65668-000	182.8	10	0	0	1	0	5	0	10	0	0	0	•		
8	常陸河川国道	一般国道6号	単路	かすみがうら市	かすみがうら市 清水交差点付近(区間)	08-T08226-000	203.0	17	0	0	6	0	2	0	15	1	0	0	•		前回対策案 提示済み
9	常陸河川国道	一般国道6号	単路	石岡市	石岡市石岡(区間)	08-T02762-000	213.2	19	0	1	7	0	6	1	15	0	0	0	•		前回対策案提示済み
10	常陸河川国道	一般国道6号	単路	小美玉市	小美玉市堅倉(区間)	08-T65447-000	77.0	4	0	0	0	2	0	0	2	1	0	0	•		挺小月07
11	常陸河川国道	一般国道6号	交差点	茨城町	小幡南交差点	08-K03949-000	346.5	9	0	0	2	0	3	0	7	0	0	1	•		前回対策案 提示済み
12	常陸河川国道	一般国道6号	単路	ひたちなか市	市毛十字路交差点南側(区間)	08-T65177-000	53.6	16	0	0	6	0	1	0	10	0	0	1	•		佐小川の
13	常陸河川国道	一般国道6号	単路	日立市	日立市石名坂町(区間)	08-T60735-000	138.5	9	0	0	4	0	5	0	9	0	0	0	•		
14	常陸河川国道	一般国道6号	交差点	日立市	森山町交差点	08-K05001-000	157.3	7	0	3	4	0	5	3	2	1	0	0	•		
15	常陸河川国道	一般国道6号	単路	日立市	日立市森山町3丁目(区間)	08-T07951-000	55.6	5	0	1	0	0	1	0	1	2	0	1	•		
16	常陸河川国道	一般国道6号	単路	日立市	日立市小木津町(区間)	08-T04523-000	75.1	4	0	0	2	0	1	0	3	0	1	0	•		
17	常陸河川国道	一般国道6号	交差点	日立市	国道461号入口交差点	08-K05530-000	379.2	10	0	0	3	0	3	0	10	0	0	0	•		前回対策案 提示済み
18	常陸河川国道	一般国道6号	交差点	高萩市	高浜町一丁目交差点	08-K05478-000	151.7	4	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	•		近小月07
19	常陸河川国道	一般国道6号	単路	高萩市	高萩市高戸(区間)	08-T06034-000	113.5	5	0	0	3	0	2	0	4	0	1	0	•		
20	常陸河川国道	一般国道6号	交差点	龍ケ崎市	牛久沼東交差点付近	08-K60839-000	118.9	4	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3	•		
21	常陸河川国道	一般国道6号	交差点	牛久市	ひたち野北大通入口交差点	08-K06798-000	267.6	8	0	1	5	0	2	1	2	0	0	3	•		
22	常陸河川国道	一般国道6号	交差点	水戸市	けやき台入口交差点	08-K07013-000	309.2	9	0	0	5	0	4	0	5	0	0	0	•		前回対策案 提示済み
23	常陸河川国道	一般国道50号	交差点	水戸市	上中妻小入口交差点	08-K07036-000	294.4	19	0	0	7	0	6	0	10	0	1	1	•		前回対策案提示済み
24	常陸河川国道	一般国道51号	単路	鉾田市	鉾田市柏熊東側(区間)	08-T09680-000	32.0	4	0	0	1	0	0	0	3	0	1	0	•		近小川の
25	常陸河川国道	一般国道51号	交差点	鹿嶋市	神向寺南交差点	08-K06348-000	639.1	9	0	1	5	0	2	1	8	0	0	0	_		鹿嶋バイパス45 線化区間のため 経過観察
26	宇都宮国道	一般国道4号	単路	古河市	古河市高野(区間)	08-T68125-200	17.7	17.7 4		0	0	0	2	0	3	0	1	0		•	宇都宮国道検討
27	宇都宮国道	一般国道4号	交差点	古河市	(仮)上片田北交差点	08-K06563-000	180.7	12	0	0	0	0	1	0	8	0	1	1		•	宇都宮国道検討
_	1		-	1	I .	I.				: 対	策振	示済	みま	ーー: たは	経過	観察	Г			上 当指	標 1

第6期事故危険区間 県管理

- ・第28回委員会では第6期事故危険区間として、県管理20箇所を選定しました。
- ・今回委員会では県管理の20箇所について対策案を提示します。



基本	トデータ					H	128-F	R01事	故デ	ータ					今	———— 備 考				
							基	基本指標 地域指標 新たな 指標											回対	考
ΙĐ	管理者	路線名	交差点/単路	市町村名	箇所名	イタルダ区間番号	死傷事故率	死傷事故件数	死者数	×車両事故件数	夜間事故件数	子供(15歳以下)事故件数	高齢者(65歳以上)事故件数	横断者歩行者事故件数	追突事故件数	正面衝突事故件数	工作物衝突事故件数	(1当2当の組み合わせ) 二輪車事故件数	今回対策案提示箇所	
						基準値	300	16	2	8	9	2	5	5	13	2	1	3		
1	茨城県	一般国道118号	単路	那珂市	那珂市飯田(区間)	08-T03367-000	53.7	8	0	1	3	0	6	1	0	3	0	1	•	
2	茨城県	一般国道118号	交差点	那珂市	ナザレ園入口交差点	08-K04684-000	436.6	9	0	0	4	0	3	0	7	0	0	0	•	
3	茨城県	一般国道118号	交差点	常陸大宮市	(仮)常陸大宮市立 第二中北交差点	08-K07175-000	212.6	8	0	1	2	0	5	1	1	0	0	0	•	
4	茨城県	一般国道125号	交差点	稲敷郡美浦村	(仮)三浦村郷中交差点	08-K60694-000	386.9	8	0	0	2	0	3	0	6	1	0	0	•	
5	茨城県	一般国道125号	交差点	稲敷郡阿見町	大竹橋交差点	08-K06770-000	435.2	9	0	0	3	0	2	0	4	0	0	1	•	
6	茨城県	一般国道125号	交差点	土浦市	(仮)土浦市右籾 グラウンド北交差点	08-K06792-000	0.0	12	0	0	2	0	5	0	5	0	0	0	•	
7	茨城県	一般国道294号	交差点	筑西市	一本松交差点	08-K06643-000	358.4	10	0	0	5	0	2	0	3	0	0	2	•	
8	茨城県	一般国道354号	交差点	土浦市	木田余跨線橋東交差点付近	08-K50138-000	540.6	11	1	0	2	0	2	0	1	0	0	1	•	
9	茨城県	一般国道354号	交差点	土浦市	木田余バイパス西入口交差点	08-K07736-000	393.1	8	0	0	1	0	6	0	4	0	0	0	•	
10	茨城県	一般国道355号	交差点	笠間市	(仮)笠間市押辺西交差点	08-K03912-000	557.8	10	0	0	5	0	2	0	9	0	0	0	•	
11	茨城県	主要地方道7号	交差点	石岡市	行里川交差点	08-K03565-000	246.8	9	0	0	5	0	6	0	3	0	0	2	•	
12	茨城県	主要地方道14号	交差点	桜川市	(仮)真壁町酒寄南交差点	08-K03471-000	728.9	9	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	•	
13	茨城県	主要地方道19号	交差点	つくば市	学園の森交差点	08-K03101-000	0.0	8	0	0	2	0	0	0	3	0	1	0	•	
14	茨城県	主要地方道24号	交差点	つくば市	花室交差点	08-K06913-000	301.7	14	0	0	4	0	4	0	3	0	0	0	•	
15	茨城県	主要地方道24号	交差点	つくば市	学園東大通り交差点	08-K06732-000	323.2	15	0	0	5	1	2	0	7	0	0	0	•	
16	茨城県	主要地方道34号	交差点	龍ケ崎市	藤ヶ丘7北交差点	08-K00972-000	337.6	8	0	2	2	1	1	2	1	0	0	0	•	
17	茨城県	主要地方道34号	単路	稲敷郡阿見町	阿見町中央茨大通り(区間)	08-T63357-000	193.0	8	1	0	1	0	6	0	5	0	0	0		
18	茨城県	主要地方道38号	単路	ひたちなか市	ひたちなか市市毛(区間)	08-T61329-000	137.6	12	0	2	5	2	2	2	5	0	0	0	•	
19	茨城県	主要地方道50号	交差点	水戸市	平須歩道橋交差点	08-K03989-000	408.8	13	1	3	6	0	4	3	5	0	0	1	•	
20	茨城県	一般県道244号	交差点	つくば市	(仮)筑波学院大学前交差点	08-K06871-000	390.6	8	0	1	2	0	4	1	2	0	0	0	•	

該当指標

対策効果未発現箇所(追加対策検討箇所) 国管理

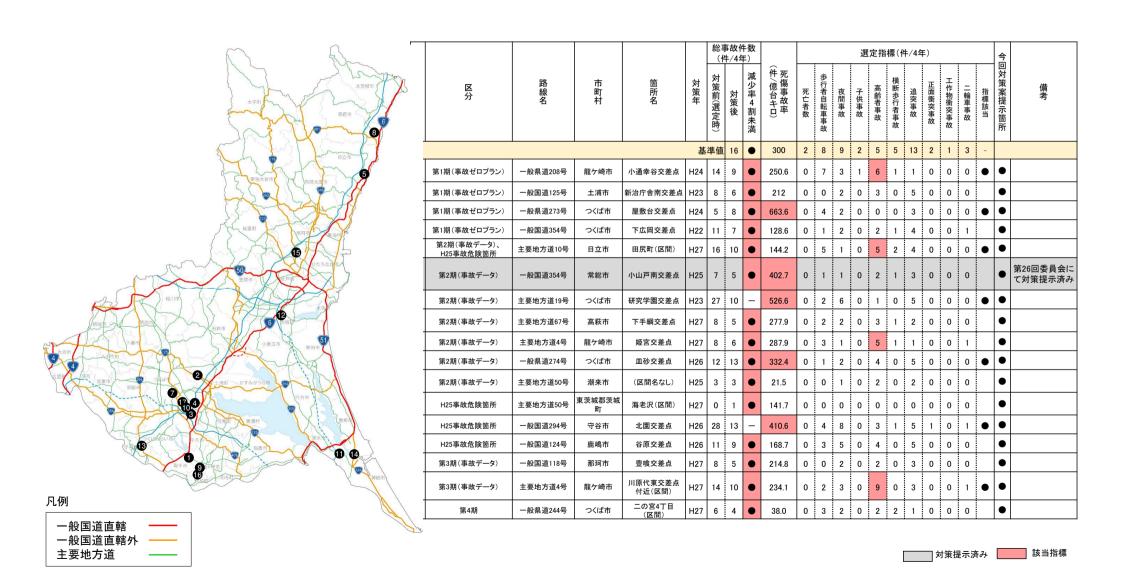
- ・第28回委員会では対策完了判定を行い、対策効果未発現箇所が国管理にて24箇所となりました。
- ・今回委員会では、国管理の2箇所の対策案について提示します。



	し使小し	Ф 7 о																						
							事故(牛/44		<u></u>				選	定指	標(作	# /4:	年)				前回	今回	次回以	
図番	区分	路線名	市 町 村	箇所名	対策年	対策前(選定時)	対策後	減少率4割未満	.件/億台キロ) 死傷事故率	死亡者数	歩行者自転車事故	夜間事故	子供事故	高齢者事故	横断歩行者事故	追突事故	正面衝突事故	工作物衝突事故	二輪車事故	指標該当	対策案提示箇所	対策案提示箇所	降対策提示箇所	備考
					基	準値	16	•	300	2	8	9	2	5	5	13	2	1	3	-				
1	第1期 (事故ゼロプラン)	一般国道6号	土浦市	学園東大通り入口 交差点周辺	H26	62	21	-	373.6	0	3	11	1	5	1	14	0	0	0	•	•			前回対策案提示済み
2	第1期 (事故ゼロプラン)	一般国道50号	水戸市	石川町交差点周辺	H25	64	17	-	178.8	0	5	10	0	4	3	6	0	0	1	•	•			前回対策案提示済み
3	第1期 (事故ゼロプラン)	一般国道6号	東茨城郡 茨城町	長岡新田交差点	H23	27	10	-	205.7	0	2	2	0	5	0	4	0	0	1	•			•	
4	第1期 (事故ゼロプラン)	一般国道50号	水戸市	大工町2丁目交差点	H23	15	10	•	327.8	0	3	3	0	5	3	6	0	0	0	•	•			前回対策案提示済み
5	第1期 (事故ゼロプラン)	一般国道6号	土浦市	原の前交差点	H25	13	9	•	301.0	0	4	2	0	1	1	4	0	0	1	•	-	-		第26回委員会にて 提示済み
6	第1期 (事故ゼロプラン)	一般国道51号	水戸市	三の丸1、2丁目 交差点周辺	H24	25	13	-	148.8	0	1	1	0	7	0	3	2	0	1	•	•			前回対策案提示済み
7	第1期 (事故ゼロプラン)	一般国道6号	ひたちなか市	田彦二本松交差点	H24	11	10	•	243.2	0	2	4	0	3	0	2	0	0	1			•		
8	第1期 (事故ゼロプラン)	一般国道6号	石岡市	石岡市役所入口 交差点	H26	11	9	•	201.0	0	2	4	0	2	1	6	0	0	0				•	
9	第1期 (事故ゼロプラン)	一般国道4号	古河市	上片田付近交差点	H23	7	8	•	120.4	0	0	1	0	0	0	6	0	0	0				•	
10	第1期 (事故ゼロプラン)	一般国道6号	那珂市	笠松交差点	H24	6	12	•	291.8	0	2	7	0	3	1	9	1	0	0		•			前回対策案提示済み
11	第1期 (事故ゼロプラン)	一般国道6号	取手市	取手駅西入口 交差点	H23	20	9	-	122.1	0	2	3	0	5	0	4	1	0	0	•		•		
12	第1期 (事故ゼロプラン)	一般国道6号	日立市	田尻町4丁目 (区間)	H26	6	8	•	156.4	0	3	0	0	4	0	1	0	0	1		-	-		道路改良済み (R1年度完了)
13	第1期 (事故ゼロプラン)	一般国道6号	かすみがうら 市	下土田(区間)	H25	8	6	•	97.9	0	0	2	0	3	0	6	0	0	0				•	
14	第2期 (事故データ)	一般国道6号	ひたちなか市	市毛 付近	H26	4	8	•	97.3	0	1	2	0	1	0	4	0	0	0		•			前回対策案提示済み
15	第2期 (事故データ)	一般国道6号	ひたちなか市	市毛(区間)	H26	4	12	•	145.9	0	2	2	0	1	1	8	0	0	0		•			前回対策案提示済み
16	第2期 (事故データ)、 H25事故危険箇所	一般国道50号	水戸市	吉田小南交差点	H25	23	16	•	248.8	0	4	7	1	4	0	10	0	0	0	•	-	-		第26回委員会にて 提示済み
17	第2期 (事故データ)	一般国道4号	猿島郡 五霞町	消防署前交差点	H26	11	7	•	125.2	0	0	3	0	1	0	5	0	0	2				•	宇都宮国道検討
18	第2期 (事故データ)、 H25事故危険箇所	一般国道4号	結城市	(仮)小田林南 交差点	H27	19	16	•	235.0	1	0	3	0	5	0	13	0	0	1	•			•	宇都宮国道検討
19	第2期 (アンケート)	一般国道6号	牛久市	牛久駅西側区間	H26	42	20	ı	113.9	0	7	7	1	7	2	10	0	0	2	•	•			前回対策案提示済み
20	第2期 (アンケート)	一般国道50号	笠間市	才木交差点	H26	9	8	ı	305.7	0	0	3	0	4	0	8	0	0	0	•	•			前回対策案提示済み
21	第2期 (アンケート)	一般国道50号	水戸市	水戸市松が丘2丁目 ~西原2丁目	H26	13	9	_	45.3	0	1	3	0	3	1	3	1	0	3	•			•	
22	第2期 (アンケート)	一般国道6号	ひたちなか市	田彦交差点	H26	14	11	1	267.5	2	1	7	0	4	0	5	0	0	0	•	-	-		第5次事故危険箇所と して提示済み
23	H25事故危険箇所	一般国道50号	桜川市	上野原地新田 (区間)	H26	8	9	•	122.9	0	2	5	0	3	1	8	0	0	0		•			前回対策案提示済み
24	第3期 (事故データ)	一般国道50号	筑西市	布川(区間)	H21	9	6	•	122.5	0	1	3	0	2	1	4	0	0	0				•	
														1 44	^/- +F			+4	1十 彩	▽ \	ED 650	1		1 該当指揮 1

対策効果未発現箇所(追加対策検討箇所) 県管理

- 第28回委員会では対策完了判定を行い、対策効果未発現箇所が県管理にて17箇所となりました。
- ・今回委員会では、県管理の16箇所の対策案について提示します。



4. 令和4年度合同現地診断について

令和4年度合同現地診断について

合同現地診断の目的

事故危険区間及び事故危険箇所に選定された箇所において、現地の状況を確認し、事故要因や対策内容について検討していただきます。

現地診断箇所

事故危険区間等として現地の状況を確認し検討が必要な箇所

①一般国道6号 原の前交差点付近(区間)

【常陸河川国道管理】

②一般国道125号 (仮)土浦市右籾グラウンド北交差点 【茨城県管理】

③ (土浦市付近現場)

【茨城県管理】

合同現地診断スケジュール(案)

- 13:00 常陸河川国道事務所 土浦国道出張所 集合
- 13:45 常陸河川国道事務所 土浦国道出張所 出発 (移動)
- 14:00 一般国道6号 原の前交差点付近(区間) 到着 現地診断(20分)
- 14:20 一般国道6号 原の前交差点付近(区間) 出発 (**移動**)
- 14:30 一般国道125号 (仮)土浦市右籾グラウンド北交差点 到着 現地診断(20分)
- 14:50 一般国道125号 (仮)土浦市右籾グラウンド北交差点 出発 (移動)
- 15:20 (土浦市付近現場) 到着

現地診断(20分)

15:40 (土浦市付近現場) 出発

(移動)

16:10 常陸河川国道事務所 土浦国道出張所 到着

総括(20分)他

16:30 解散



5. 今後のスケジュール

今後の安全性向上委員会のスケジュール

〇本日の委員会

- 1. これまでの経緯
- 2. 第29回委員会における主な指摘事項
- 3. 交通安全対策検討
- 4. 合同現地診断について
- 5. 今後のスケジュール

〇次回 安全性向上委員会(令和5年2月頃開催予定)

- ・これまでの経緯
- ・事故危険区間の対策完了(卒業)判定
- ・合同現地診断結果
- ・ その他
- ・ 今後のスケジュール